

富 監 第 8 1 号  
令和5年10月26日

富田林市喜志財産区管理者  
富田林市長 吉 村 善 美 様

富田林市監査委員

中 川 元

花 岡 秀 行

南 方 泉

令和4年度富田林市喜志財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和4年度富田林市喜志財産区特別会計歳入歳出決算（歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）及びその他附属書類について審査した結果、次のとおり意見を提出する。

## 令和4年度 富田林市喜志財産区特別会計決算審査意見

### 第 1. 審査の対象

令和4年度 富田林市喜志財産区特別会計決算

### 第 2. 審査の期間

令和5年9月6日から令和5年9月30日

### 第 3. 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が関係法令の規定にしたがって作成されているか、また、決算計数が正確であるか等を確認するため関係諸帳簿及び証拠書類を照合し、併せて予算の執行が適正かつ効果的に行われているかどうかを主眼として審査する。

### 第 4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、関係諸帳票に金額等の修正方法が一部不適切と思われるものもあったが、全般的に決算の計数も関係諸帳簿及び証拠書類と符合し正確であり、本年度の決算を適正に表示していることを認めた。

### 第 5. 決算総括

喜志財産区特別会計歳入決算額は9,386,540円、歳出決算額は9,386,540円で歳入歳出差引額は0円である。歳入では財産収入及び繰入金、歳出では議会費及び総務費が減少しており、主な要因は歳入ではため池・堤の売却による不動産売払収入の減、歳出では土地売却代金の基金積み立て、一般会計繰出しの減により減となったものである。前年度に比べ歳入・歳出ともにそれぞれ13,841,606円(40.4%)の減少となった。

公有財産においては、令和4年度中の増減はなかった。

基金については、取り崩し額が積立額を上回っており、952,000円減少した。これは、辰池擁壁補強事業等の実施に伴う一時的な取り崩しによるものとのことであるが、健全な財産区運営を念頭に、今後も基金の計画的な活用に努められたい。

喜志財産区は所有する財産の管理等について、今後も引き続き地方自治法第296条の5第1項の主旨に則り、財産区住民の福祉の増進を図るとともに、市との一体性を損なうことのないよう努められたい。また、財産区財産について、常に良好な状態を維持すべく適切にこれを管理し、その目的に応じた最も効果的な財産区事業の運営に取り組まれることを望むものである。

## 第 6. 収支の状況

### 1. 歳 入

決算額は9,386,540円で、前年度（23,228,146円）と比較すると13,841,606円の減少となり、予算現額に対する収入率は89.3%である。各款別における歳入の状況は表1のとおりである。

〔表 1〕

(単位:千円・%)

区 分	4年度			3年度 決算額	増 減	前年度比
	予算現額	決算額	収入率			
使用料及び手数料	7	7	96.3	6	1	105.5
財 産 収 入	4,212	4,211	100.0	17,856	△ 13,645	23.6
繰 入 金	6,295	5,169	82.1	5,366	△ 197	96.3
繰 越 金	0	0	0.0	0	0	-
諸 収 入	1	0	0.0	0	0	-
計	10,515	9,387	89.3	23,228	△ 13,841	40.4

財産収入が1,364万5千円の減となった。これは不動産売払収入の皆減によるものである。

### 2. 歳 出

決算額は9,386,540円で、前年度（23,228,146円）と比較すると13,841,606円の減少となり、予算現額に対する執行率は89.3%である。各項別における歳出の状況は表2のとおりである。

〔表 2〕

(単位:千円・%)

区 分	4年度			3年度 決算額	増 減	前年度比
	予算現額	決算額	執行率			
議 会 費	1,025	960	93.7	961	△ 1	99.9
総 務 費	9,190	8,427	91.7	22,268	△ 13,841	37.8
予 備 費	300	0	0.0	0	0	-
計	10,515	9,387	89.3	23,228	△ 13,841	40.4

総務費が1,384万1千円の減となった。これは財産区財産売払収入による積立金1,090万5千円の減少や、繰出金の皆減などによるものである。

## 第 7. 財産に関する調書

### 1. 公有財産

#### (1) 土地

4年度末現在高は117,566.9㎡であり、4年度中の増減はなかった。

#### (2) 建物

4年度末現在高は325㎡であり、4年度中の増減はなかった。

### 2. 備品

4年度末現在高は0台であり、4年度中の増減はなかった。

### 3. 基金

年度当初の現在高は3,989万2千円で、4年度は積立金421万7千円であったが、取崩額が516万9千円あったことにより、年度中で95万2千円の減となり、4年度末残高は3,894万円であった。